

一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～



越谷市議員 白川 ひでつぐ
シリーズ/NO 111



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来19年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算3800日を超え5期目残り1年になりました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前での様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は現在88名です。100名を超えると、スマートフォンでのライブ配信をすることができます。より身近な配信のため、ご協力をお願いします！

チャンネル登録



朝から酔った市民との対話？が・・・

今朝の駅立ちは、北越谷駅東口で午前5時45分から開始をしたが、街宣用具の設置や駅前清掃を終えて、看板に張り付ける2種類のポスターの印刷をするため、駅構内のファミリーマートで拡大コピーを20円で作成した。

それから市政レポートの配布を始めて直ぐに馴染みの高齢男性から1000円のカンパを頂いた。

午前7時前40代の男性が近づいて来られて、来年4月の越谷市議会選挙に挑戦をしますので、と名刺を出してご挨拶をされた。

そうですか、ご職業は何ですか、と尋ねたら日本交通のタクシー運転手との返事だった。

そうですか、私も元岩槻タクシーの運転手をやっていた越谷市内で営業していました、と話

したら、はい知っています、との応答だった。

これから駅前の西口を中心に街宣活動に取り組んで行く事や、自宅周辺から個別訪問を出来るだけやろうと思う、との話が続いた。

昨年の市議補選で4名の議員が当選しているが、新人の候補者がこれに割って入って当選するには相当な努力とネットの活用が必要とされる。

ライバルになるかもしれないが、日々の努力が成果を生むことを期待している。

その後、旧知の看護師さんから、私のYouTubeチャンネルに登録しました、と話して頂き、改札に向かわれた。

ありがとうございます、100名登録まで後30人位ですので、とお礼を述べながら、動画を見て頂いている市民が着実に増えているのを実感した。

午前8時頃馴染みの30代前半の女性で、都内の製薬会社に勤める方に出会ったが大きなキャリアバック姿だった。

そこで今日はどちらかにお出かけですか、と声を掛けたら今から大阪に旅行です、と笑顔の返事だったので、楽しんで来て下さい、と送り出した。

ただ、この時間にスピーカーの電源がなくなってしまい、肉声での挨拶と呼びかけに代わった。次々と足早に改札に向かう市民に向けての行動なのでより大きな声を出す必要があるため、体力が消耗して行く。

目前にはバス停があり、高校生を始め市民が10m程一列に並びバスを待っている中、私の前に50歳前後の男性が缶ビールを片手に黙って立ちはだかった。

このため、次々と向かって来る通勤客と私の間で動かないため、市政レポートを配布する活動の障害となってしまった。

しかたなく、すみません、もう少し横によけて頂けませんか、とお願いしたら黙って数歩歩いて頂いた。しかし、なんだ、一人でやっているんだーと叫びながら更に数歩移動された。

そして、予備校の宣伝のため案内パンフを配布していた若い女性にも何やら話しかけているようだった。

こんな朝早くから缶ビールを飲んでいるのは、仕事で夜勤明けなのか、またはやけ酒なのかは不明だが、どんな事情があるのだろうか、お話が聞ければよかったのだが。

(6月3日・金曜日)

(裏へつづく)

現役政治家が真面目にゲームしてみた

今朝の駅立ちは、越谷駅東口で通常どおり午前5時50分頃から午前8時30分過ぎまで実施した。6月議会開催中のため午前9時過ぎには7階の議員控室で待機して、午前10時からの本会場の一般質問の3日目に臨んだ。

5人の議員による質問が午後4時頃終了したが、この日午後7時からゲーム「Democracy 4」の第2回目のプレーをライブ中継で配信した。

このゲームは、自身が総理大臣に就任して内閣と共に国家の運営のため様々領域での政策の決定を実行していくものだ。

<https://www.youtube.com/watch?v=m8704mxQY8U&t=1640s>
(6月9日・木曜日)

越谷市議会副議長がまた一年で交代

今朝の駅立ちは、越谷駅西口で午前7時から午前8時30分まで、大型のスピーカーで現在開催されている6月越谷市議会の市長提出議案や議員提出予定の政府への意見書の説明やポイントの解説をした。1時間30分の街頭演説のスタイルで取り組んだ。

終了後、そのまま越谷市役所向かったが、午前10時から本会議場で、市長提出議案8件に対する質疑の日程となっているからだ。

しかし、この日は、冒頭質疑の前に副議長が「一身上の都合」と辞職願を提出したため、その議事取扱いと後任の副議長選挙が行われた。副議長候補の小林とよ子（自民党）と山田裕子（立憲・ネット）の二人の議員に対する本会議場での投票の結果（小林17票、山田12票、無効3票）、小林議員が来年4月までの任期で副議長に選出された。

これまで数十年間に渡り議長、副議長が1年で交代する年中行事から、今期からやっと議長は2年交代となったが、依然副議長は1年交代が続いている。しかも自民党と公明党が交互にその職につく事態には変化はない。

更に、議長に立候補する議員は事前に「議長公約」を文章で全議員に配布する慣例は続いているものの、その公約は、市議会ホームページにも議会だよりにも一切公開されていない。

そのため市民からは、市議選の公約は最低公開されているものの、何故議長公約はオープンにされないのかと批判が続いている。

(6月13日・月曜日)

アスベスト被害者の救済を求める

今日は、午前9時30分から6月越谷市議会の民生常任委員会が開催され、傍聴するため今朝の駅立ちは中止した。

第1委員会室での請願「アスベスト被害者の全面救済を求める意見書を政府に提出」の審査と採決が行われた。

健康被害が続発したアスベスト問題の解決のため救済法が成立した。これまでアスベストの使用を承認して来た国やその製造会社への責任が明文化された法律となった。ところが被害者の救済対象は室内で作業をしていた者に限定されており、しかも製造していた民間企業が負うべき被害者への支援等は明記されていない。このため、この二つの問題を解決するため、法律の改正に向けて政府への意見書を求める請願となっている。常任委員会では、各委員から質疑が提案者の市民に対して行われ、採決の結果賛成多数で採択された。

ところが、質疑を一切しない上、反対討論もしなかった自民党と公明党の議員が反対した。

当然反対するからにはその理由があるはずなのだが、請願者には勿論、市民への説明責任が果たされていない現実を見せつけられた。民生常任委員会の中継録画は以下から視聴
https://koshigaya.gijiroku.com/g07_Video2_View.asp?SrchID=1171

(6月14日・火曜日)



越谷技術高校生が開発したカレースパイスを試食

私の次男が卒業した越谷技術高校の三年生6人が開発し商品化した「こしがやカレーミックススパイス」(3人前、390円)を試食した。料理自慢の市民にお願いして、本日事務所で商品に印刷されたレシピに忠実に料理して頂いた。食材の小松菜やトマト等の使用は勿論、ミキサーでのかくはんも忠実に実行して頂いた。その結果、胃にとってもやさしい味付けとなっており、大人から子供たちまで美味しく食べる事が出来ると感じた。この商品は、こしがや愛されグルメの一品に指定されており、越谷駅東口にあるガーヤちゃんの蔵屋敷で販売している。

(6月18日・土曜日)